



College of Global Communication

〔 グローバル・コミュニケーション学群 〕
グローバル・コミュニケーション学類

入学定員250人



桜美林大学
J. F. Oberlin University

2016年4月、はじまる。

桜美林が変わる。 世界が変わる。



急速にグローバル化が進む現代。世界の変化に対応できるだけでなく、望ましいグローバル社会を構想し、実現に向けて行動できる実行力を備えた人材が求められています。グローバル・コミュニケーション学群は、このようなグローバル化が進む社会のニーズに応える人材の育成をめざし、教育課程を編成しました。これからみなさんの目標となるのは、語学力に支えられた高いコミュニケーション能力に加えて、異文化・異言語の相手と理解しあい、協調してグローバル課題を解決に導く論理的思考力を併せ持つ人材です。特に1年次から2年次前半までの1年半をかけて徹底して鍛える語学科目はもちろん、「日本の社会や文化に関する理解」「グローバル社会の発展に関する重要なテーマ」に関する専門科目や、多国籍の学生とひとつの課題に取り組むグループプロジェクトなどをしっかりと用意しました。2016年4月、桜美林大学で、グローバルリーダーをめざしてみませんか？

CONTENTS

■ 学群長×副学長対談 グローバル・コミュニケーション学群、はじまる。 …	P03
■ Curriculum	P05
■ Our Day at School	P07
■ The 4 Pillars of GC [語学]	P11
[グローバル・スタディーズ]	P13
[リーダーシップ]	P15
[留学]	P16
■ Careers	P17
■ 入試情報	P19
■ オープンキャンパス/ グローバル人材育成奨学金	P22



グローバル・コミュニケーション学群、はじまる。

毎日のキャンパスライフが
グローバル。

畑山 桜美林学園創立100周年まであと5年。いよいよグローバル・コミュニケーション学群の開設ですね。現在の国際社会は国境を越えグローバルな視点がなければ解決できないさまざまな問題を抱えています。そんな時代に新学群がどんな指針を示すのか期待が高まりますね。

バートン 「国際人の育成」を建学の精神に掲げる桜美林大学では、これまでも多種多様な国際教育を展開してきました。新しい学群では、この伝統を受け継ぎつつ、外国語スキルを武器として多様な人々と協力しながら、世界の問題に立ち向かうことができる人材を育てたいと考えています。

畑山 たくさんの大学が「グローバル人材」の育成を目標に掲げていますね。評価の高い外国語教育や豊富な海外留学制度のほか、桜美林大学ならではの

の新学群の特色と言えば何ですか？

バートン 他大学では日本人学生を対象としたカリキュラムになっています。一方、新学群が対象とするのは日本人学生と外国人留学生。日本研究やグローバル 이슈を学ぶために来日した留学生と日本人学生が同じ教室で同じ講義を履修することが特色です。

畑山 国際社会の課題解決に取り組むグローバル人材を育成するには異なる価値観や文化に絶えず触れる環境が不可欠だと思います。

バートン その点では桜美林大学は150校を超える海外留学提携校を有し、国際寮などを完備して海外留学生の受け入れを積極的に行ってきた実績があります。キャンパスに小さなグローバル社会がある、これを新学群の強みにしていきます。グローバル・コミュニケーション学群で

【グローバル・コミュニケーション学群長】

バートン・ブルース BATTEN, Bruce
Ph.D. (History)

米国西海岸、オレゴン州の出身。大学の時に日本語を習い始め、卒業後に英語の教師として初来日。一旦帰国して大学院で日本史を学んでから、再来日して現在に至る。日本在住期間が米国のそれよりもかなり長い、ちょっと変わったアメリカ人。趣味は、写真とバイオリン。

桜美林大学ならではの グローバル人材育成。

は、1・2年次に英語や中国語を徹底的に習得し、3年次以降は政治・経済や法律、環境など専門的な分野を英語や中国語で受講します。

畑山 「外国語を学ぶ」から「外国語で学ぶ」に進んでいくわけですか。また、これまで以上に海外留学を積極的に行う予定ですね。

バートン 2年次後期または3年次前期の海外留学を「必修」としています。グローバル社会の本当の大きさを自分の身体で学んできてほしいと思っています。

畑山 しかもグループで留学して、海外でグループプロジェクトに取り組むという、これまでにないスタイルの留学ですね。これも面白そうです。

バートン 帰国後は外国人留学生と協力してグループプロジェクトに取り組めます。リーダーシップや社会の変

化に対応するための応用力を伸ばすプログラムを用意し、桜美林大学ならではのと言えるグローバル人材育成に挑戦します。

畑山 教員陣の特色は？

バートン 新学群で指導する教員は半数以上が外国人です。2か国語を話すバイリンガル、3か国語を使いこなすトライリンガルの教員もいて、学生も教員も文字通りの「グローバル」です。

畑山 そんな環境の中で学生を鍛えていく、グローバル人材をめざすならこれ以上の場所はないということですね。

バートン 新学群に入学した学生は、求められる学習のボリュームに驚くかもしれません。けれども、まもなく自分の成長に気がつくはずですよ。まずは、元気で明るく、何事にも前向きに取り組む人、そんな可能性を秘めた学生を迎えたいと思っています。

[桜美林大学副学長]

畑山 浩昭 HATAYAMA Hiroaki
Ph.D. (Rhetoric and Composition)

鹿児島県出身。桜美林大学卒業後、公立高校の英語教諭として7年間在職。親族が反対する中、公務員を退職し渡米。ノースカロライナ大学大学院で文学やコミュニケーションを学ぶ。帰国し大学教員となるが、様々な仕事に携わる中で再渡米。MITの大学院に留学しMBAを取得する。趣味は、フリカケ(銅い猫)とエレキギター。



Curriculum

充実の語学教育から留学、グループプロジェクトへグローバル人材への成長を実感できるカリキュラム

これからのグローバル社会で求められる人材になるために、4年間で学ぶべきことはたくさんあります。まず、国際社会で活躍するには欠かせない「語学」。そして自国の社会・文化を理解し、異文化への理解力を高める「グローバル・スタディーズ」。学んだ外国語を実践しながら、価値観や慣習の違いを肌で感じ、地球規模の視野を獲得する「留学」。さらに留学から帰国した後に、グループプロジェクトなどを通じて外国人留学生と切磋琢磨しながら培う「リーダーシップ」——グローバル・コミュニケーション学群の4年間のカリキュラムには、グローバル人材に必要なものが凝縮されています。

■ 養成する人材等

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類は、1)語学に長け、2)コミュニケーション能力が高く、3)分析や創造を伴う思考力と問題解決に向けた計画力や実行力を有する人材の養成等を目的とし、共同活動を通してグローバルリーダーシップの基礎基本を修養できる教育等を行う。



※ TOEFL is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

※ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

1st year

コミュニケーションの基礎となる語学を徹底的に学ぶ

必修科目の「グローバル・コミュニケーション入門」と「外国語修得法」で、グローバル・コミュニケーション学群での4年間の学修方法を習得。同時に基礎となる語学を徹底的に学び、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能のスキルアップを図ります。さらに学期ごとにTOEFL®やTOEIC®などの検定試験を受け、語学力の伸びを確かめます。

語学

- 英語または中国語

基幹科目

- グローバリゼーションと社会
- イノベーションとリーダーシップ
- 論理的思考とコミュニケーション
- 数的理解と統計

TOEFL®

英語圏の大学へ留学する際に、学生の英語力を判定する指標となるテスト。満点は120点で、グローバル・コミュニケーション学群の卒業時の到達目標は67点以上です。

TOEIC®

英語によるコミュニケーション能力を測るテストで、企業が採用の際に学生の英語力を知る指標として広く用いられています。試験はリスニングとリーディングに分かれ、満点は990点。グローバル・コミュニケーション学群の卒業時の到達目標は710点以上です。

新HSK(漢語水平考試)

中国政府が公認する中国語検定で、世界共通基準の資格。就職や留学などさまざまなシーンで活用されています。グローバル・コミュニケーション学群卒業時の到達目標は5級です。

※グローバル・コミュニケーション学群のメインキャンパスはプラネット澗野辺キャンパス(PFC)です。

2nd year

自分から発信できる語学力を鍛え 半年間の留学へ

「話す」「書く」に特化した「コミュニケーション」の授業で自分から発信する語学力を鍛え、後期からの留学に備えます。日本や世界の社会・文化を学ぶ「グローバル・スタディーズ科目」も2年次前期からスタート。自国への理解を深めることで世界と比較対照できる力を養い、留学先での交流や異文化理解に役立てます。

語学

- 英語コミュニケーションまたは中国語コミュニケーション

日本の文化と社会

- 日本の文化
- 比較文化論
- 日本文学概論
- 比較文学研究
- 日本の歴史
- 日本の思想と宗教
- 日本の芸術 など

留学

留学期間は半年間。英語特別専修の場合はアメリカやオーストラリアなどの提携大学に、中国語特別専修の場合は中国の提携大学に留学します。留学先のプログラムは、グループプロジェクトやディスカッション、プレゼンテーションなど双方向型の研修を中心に構成。就業体験や地域奉仕活動、環境活動などのプログラムも豊富に用意し、実践の場で外国語コミュニケーション能力を鍛えます。

グローバル・リーダーシップ・セミナー

さまざまなグローバル企業・団体の事例に焦点を当て、事業を成功へと導くリーダーシップや、問題の解決方法を探ります。授業は外国人留学生とのグループプロジェクト形式で行われ、ディスカッションやプレゼンテーションを実施。言語や文化を越えて協働し、共通の目標や課題を達成する力を実践的に身につけていきます。

3rd year

留学生と協働で課題に取り組み 語学力・創造的思考力をアップ

留学から帰国後は外国人留学生とともに英語または中国語で「グローバル・スタディーズ科目」を履修し、日本や世界の文化・経済やグローバル社会について学びを深めます。留学生とグループプロジェクトを行う「グローバル・リーダーシップ・セミナーⅠ」のほか、「インターンシップ」や「キャリアデザインⅡ」など就職に備えた実践的な科目もあります。

グローバル社会の発展

- 異文化コミュニケーション論
- 比較教育論
- 金融と経済
- 日本型経営論
- 国際政治論
- 国際関係論
- グローバル社会とジェンダー など

インターンシップ

3年次には就職を見すえて「インターンシップ」を体験。企業で一定期間働き、その後のキャリアプランづくりに役立てます。企業への派遣前に業界研究やビジネスマナー研修を受け、派遣後にはインターンシップの体験を振り返り、レポートを提出します。グローバル企業等の仕事を知り、自身の適性や進路を考える参考となります。

英語による学位取得

全ての授業を英語で学習することで英語で学位を取得することができます。一般的に、英語での学位取得は外国人留学生のためにつくられたプログラムでしたが、急速なグローバル化に伴い、日本人学生にも門戸が開かれるようになりました。海外で働きたい学生にとって、英語での学位は大きなアドバンテージです。

4th year

語学力とリーダーシップを備えた 人材となり、実社会へ飛躍する

4年次には就職活動や大学院進学に向けた準備が待っています。同時に「グローバル・リーダーシップ・セミナーⅡ」でリーダーシップ力を高め、今後のグローバル活動に役立つ専門知識を「グローバル・スタディーズ科目」で学びます。

リーダーシップ

- グローバル・リーダーシップ・セミナー
- インターンシップ
- 職場体験
- 協働体験
- グループプロジェクト など

Our Day at School

毎日の講義だけじゃない —。

言葉を学び、コミュニケーションについて考え、

そして世界を感じる瞬間が、

キャンパスで過ごす時間に溢れている。

同じ目標を見つめる仲間たちや

世界中から訪れる多くの留学生と過ごす日々の中にも、

学群が大切にしたい「学び」の時間があります。

桜美林大学のキャンパスで、

グローバル・コミュニケーション学群で過ごす毎日が

あなたの可能性を、もっと広げてくれるはずです。



8:30

授業がはじまるまで、昨日のニュースについて語りあう。
世界への関心を持ち続けることが、
あなたの視野を広げるきっかけになるはず。

Good morning!





10:30

これは 難題ね...

What do you think?

嗯，这个怎么样？



ディスカッションやプレゼンテーション、
グループプロジェクトなどさまざまなスタイルで
授業は展開されていきます。

Take a look at this chart.

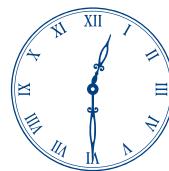


这个想法太棒啦



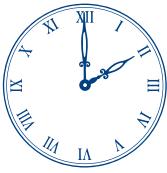


緑豊かなキャンパスで、自然と会話も広がります。
語学力の向上には、授業だけでなく、
日常会話も大切です。



12:30





14:00

这个你怎么发音?



留学生とともに学ぶ。
グローバル・コミュニケーション学群を
象徴するシーンのひとつ。

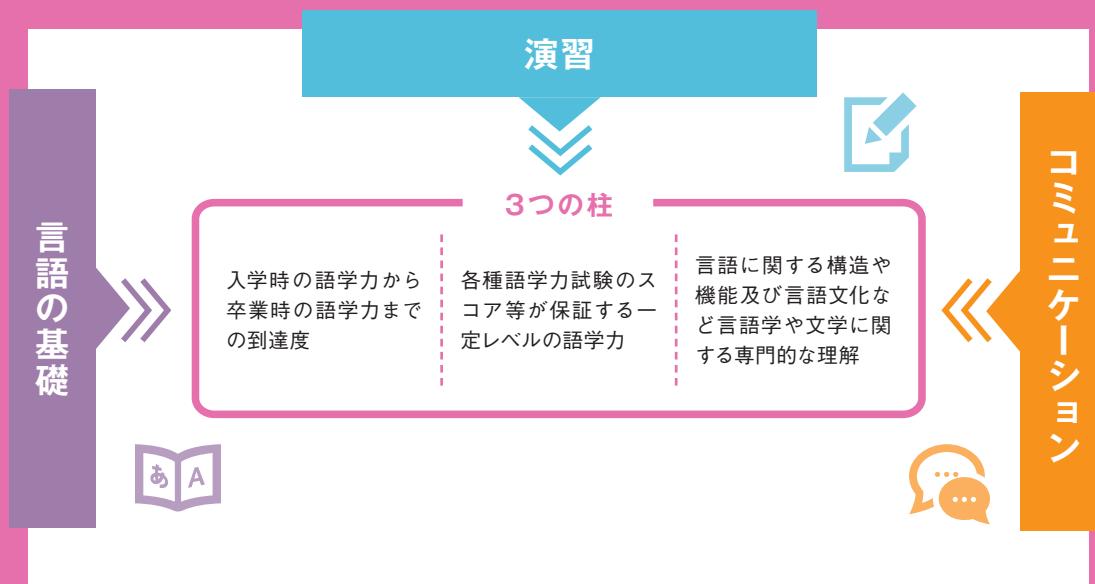


16:00

留学生と同じ屋根の下で暮らす国際寮。
日本にいながらにして、さらに高い
グローバル感覚を養うことだってできます。



Language 語学



言語の基礎

語彙、文法、音韻・音声など、その言語が持つ独自の構造の理解を深めます。複雑な構文の理解と構文作成、長文読解、スピーチ、ディスカッションへとつながる、外国語コミュニケーション能力の礎となる学びです。

演習

習熟度別に「初級」「中級」「上級」に分かれ、各自に合ったレベルで「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能の修得をめざします。時事問題、アカデミック・スキル、検定試験対策など、多彩なテーマが用意されています。

コミュニケーション

その言語が話されている地域の「社会」「心理」「政治」「経済」などを学び、それらが地域のコミュニケーションにどのような影響を与えているのか考え、場面や状況に応じたコミュニケーションスキルを修得します。

特別演習

入学時に優れた英語力／中国語力を持つ学生を対象とします。言語学や文学の基本を学び、ハイレベルな会話力を養成。論文や新聞・雑誌、エッセイなどジャンルごとの言語の特徴を修得し、内容を分析批評できる知識を身につけます。

高い実用レベルの外国語コミュニケーション能力の 修得をめざし、レベルやテーマごとのクラスを用意。

POINTS

- 1 2年次後半の留学に備えて、
1年次から語学力を徹底的に強化。
- 2 4技能（聴く・話す・読む・書く）を
レベル別クラスでバランスよく学修。
- 3 時事、TOEIC®、ディスカッション…
学びたいトピックを選んで学ぶ。

グローバル・コミュニケーション学群で待っているのは、十分な時間と学習量を確保した英語／中国語の授業です。たとえば習熟度別の演習では、各自のスキルに合わせた履修が可能であるため、4技能（聴く・話す・読む・書く）をバランスよく修得できます。さらに、時事問題、文化、社会、アカデミック・スキル、検定試験対策など、テーマ別にさまざまなクラスを用意しているので、一人ひとりの目的や関心に応じて科目を選択できます。培った語学力は留学をより有意義にします。帰国後に学ぶ専門科目を英語／中国語で学ぶ際の強力な武器となります。

リベラルアーツ学群との言語教育の違いは？

リベラルアーツ学群にも外国語を専攻するプログラムがありますが、グローバル・コミュニケーション学群と大きく異なる点があります。それはリベラルアーツ学群の授業は「外国語を学ぶ」のに対し、グローバル・コミュニケーション学群の授業は「外国語で学ぶ」ということ。2年次以降の専門科目もすべて英語・中国語で学ぶために、専門的・抽象的な内容を扱える語学力を入学直後から鍛えていきます。



For instance

英語演習（初級・中級・上級）

英語演習科目では、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能の修得に加え、ディスカッション、時事問題、文化、社会、TOEFL®やTOEIC®等の検定試験対策等をテーマとした様々なクラスを用意している。学生各自の目的や興味、関心に応じてこれらのクラスから複数を選択し、履修することを可能としている。習熟度別に3つのレベルで編成。（→「初級」「中級」「上級」レベルごとに別授業）

中国語（IA・IB）

中国語の発音や基礎文法とともに、実用会話を修得することに加え、中国語の声調及び発音表記である「拼音字母」の修得にも注力する。異文化理解を深めるためのコミュニケーション能力向上を重視し、授業ではテキストで学習した表現を「覚える」だけでなく、「使う」ことに重きを置く。「中国語IA」では、特に「聴く」「話す」、「中国語IB」では「読む」「書く」に焦点をあてる。（→「IA」「IB」それぞれ別授業）

ライティング・サポートセンター

英語を書く力を向上させた学生のためのサポート。レポート、プレゼンテーション原稿、メール文章など、さまざまな文章作成について、チューターからマンツーマンのアドバイスを受けることができます。



Global Studies

グローバル・
スタディーズ

日本文化系科目群

日本の文化や社会を理解する

日本の文化、芸術、歴史、宗教等の授業を通して、日本を広く客観的に学ぶことで、多様な視点を確立します。

日本を知り
世界へと
視野を広げる



グローバル社会系科目群

グローバル社会の発展を理解する

日本を理解するとともに世界にも目を向け、異文化理解、経済、経営、社会、ジェンダーなどのテーマに沿って理解を深めます。

日本文化系科目群

- 日本の文化
- 近代の日本文化論
- 比較文化論
- 日本文学概論
- 日本文学作品論
- 比較文学研究
- 日本の芸術
- 日本の映像芸術
- 日本の舞台芸術
- 日本の歴史
- 日本の近代史
- 日本の思想と宗教
- 比較人文学特論

グローバル社会系科目群

- 英米文化講読
- 英米文化研究
- 中国文化論
- 中国文化史
- 異文化コミュニケーション論
- 金融と経済
- 日本型経営論
- 現代の産業と企業
- 国際政治論
- 国際関係論
- 日本人と国際社会
- グローバル社会とジェンダー
- 比較社会論
- 比較教育論
- グローバル社会特論
- 国際教養研究A
- 国際教養研究B
- 国際教養研究C
- 国際教養研究D

言語の背景にある社会や文化を理解し グローバルな視野で物事を考える力を養成。

POINTS

- 1 外国人留学生とともに学び
実践的な外国語運用力を高める
- 2 グローバルな規模で物事を考える力や
ゼロから生み出す思考力を養成
- 3 自国の社会や文化を理解することで
世界と比較対照できる視野を獲得

「グローバル・スタディーズ科目群」では、日本の社会や文化に対する理解を深めると同時に、グローバル社会の発展に関する重要なテーマについて学びます。自国の社会・文化・歴史への深い理解は、グローバル社会で異なる価値観や常識を持つ人々と接する際に欠かせないもの。世界に目を向け、異文化理解、経済、政治、ジェンダーなど重要なテーマを学ぶことで、現在のグローバル社会に存在する課題・問題を理解し、広い視野で物事を考える力を養います。授業は英語／中国語で実施。たくさんの外国人留学生と机を並べてグローバルな課題について外国語でディスカッションするなど、古くから数多くの外国人留学生を受け入れてきた桜美林大学だからこそ実現できる環境を通じて、外国語コミュニケーション力や生きたグローバル感覚がさらに高まります。



For instance

日本の文化*

どのようにして日本文化を学ぶことができるのか？日本人は外国人からどのようにみられているのか？日本人の価値観、信念とは何か？本科目では、まずカルチュラル・スタディーズの基礎概念を紹介し、それらを用いて現代日本文化の理解を試みる。また、日本のサブ・カルチャーについても学ぶ。

中国文化史

中国は漢民族と55の少数民族を含む多民族国家である。さらに台湾には11の原住民がいる。本授業では、中国・台湾の少数民族の社会と文化を概括的に取り上げ、年中行事、宗教儀礼、生業形態、音楽、社会組織など、各民族の特徴に応じて講義する。各民族については、テレビのドキュメンタリー、映画及び自らのフィールドワークで撮影した映像資料、民具や工芸品などの実物などを示しつつ、具体的に説明していく。

異文化コミュニケーション論*

価値観、認知、言語、非言語に焦点をあて、異文化間コミュニケーションについて学習していく授業である。授業の目的は、異なる文化的価値観が、いかに日常のコミュニケーションに影響しているのかを理解し、異なる文化に関する自己、他者の気づきの能力を向上し、異なる文化の言語・非言語コミュニケーションスタイルを比較、対照することにある。

※英語による授業及び中国語による授業をそれぞれ開講

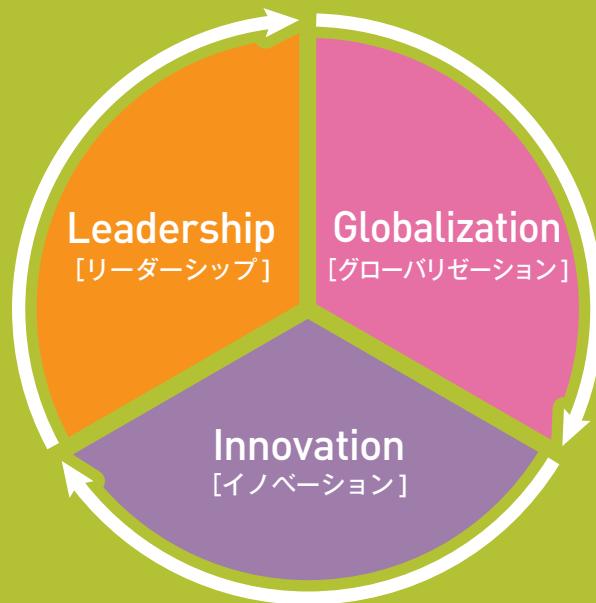
Leadership リーダーシップ

グループプロジェクトを通して グローバルに活躍するための リーダーシップを養成。

グローバル社会で活躍するために必要とされるのが、強い組織／チームをつくり、ゴールに向かって的確に牽引していくための「リーダーシップ」です。グローバル・コミュニケーション学群では、今世界でなにが起きているのか「グローバルリゼーション」の実態を学んだ上で、より良いグローバル社会を築くために必要な「イノベーション」の技法、そしてイノベーションを実行に移すための「リーダーシップ」のあり方を学習します。身につけるのは、より強い組織／チームづくりにつながるチームワークを生み出すスキル。基本となる授業は1年次に履修し、4年間の学びを通じて実践体験を積んでいきます。

▶ グローバル・リーダーシップ・セミナー

さまざまな国籍の外国人留学生とグループを構成。グローバル企業のリーダーや、多様な事業事例を取り上げます。そこで、リーダーが取るべき行動や組織・構成員を導き、事業を成功させる方法について、ディスカッション、プレゼンテーションなどのグループプロジェクトによって、実践的に学びます。文化や価値観の異なる外国人留学生とともに共通の目標を達成する過程を身につけ、グローバルに活躍するためのリーダーシップを身につけます。



▶ グローバルな学びを支える教授陣

バートン ブルース
BATTEN, Bruce 教授

▶ 学歴
米国 Stanford University
Department of History
[博士課程]修了

▶ 学位
Ph.D. (History)

リ エンミン
李 恩民 教授

▶ 学歴
一橋大学大学院社会学研究科
地域社会専攻 [博士課程]修了

▶ 学位
博士 (社会学)

アダチ マサユキ
足立 匡行 教授

▶ 学歴
米国 Wake Forest University
Department of Anthropology
[修士課程]修了

▶ 学位
M.A. (Anthropology)

アラタ アキオ
荒田 明夫 教授

▶ 学歴
東京大学法学部 (公法コース)
卒業

▶ 学位
法学士

ウィルビー クリスティーン
WILBY, Christine 教授

▶ 学歴
英国 Aston University
Department of European
Studies and Modern Languages
[博士課程]修了

▶ 学位
Ph.D. (Sociolinguistics)

Study Abroad 留学

学生全員が半年間留学。 外国語運用能力を高めると同時に グローバルな視野の獲得をめざす。

海外留学は学んできた語学の実践の場となるだけでなく、異なる文化や価値観の中に身を置くことで視野を広げる大きな機会。派遣先の提携大学ではグローバル・コミュニケーション学群向けのプログラムを提供し、大学の授業以外にも就業体験や奉仕活動などを通して、実社会のさまざまな人々と接することができます。そこで体験した発見、喜びは、グローバル人材へと成長するまたとない糧となるもの。さらに、グローバル・コミュニケーション学群の海外留学では卒業時に必要な単位として20単位まで認定されるので、4年間で卒業が可能。また、アメリカと中国には本学の現地事務所があり、安心して留学できる体制を整えています。

■ 派遣予定の大学

- ハンボルト州立大学(アメリカ/カリフォルニア州)
- サンフランシスコ州立大学 モントレーベイ校(アメリカ/カリフォルニア州)
- アラバマ大学(アメリカ/アラバマ州)
- パルドスタ州立大学(アメリカ/ジョージア州)
- ポンド大学(オーストラリア/クイーンズランド州)
- 鄭州大学西亜斯国際学院(中国/河南省)
- 同済大学(中国/上海) など



ヨウ コウジュン 楊 光俊 教授

- ▶ 学歴
中国 復旦大学
中国語言文学部卒業
- ▶ 学位
文学士

チョウ ヘイ 張 平 教授

- ▶ 学歴
鳴門教育大学大学院教育学研究科
[修士課程]修了
二松學舎大学大学院文学研究科
[博士課程]博士課程単位取得後退学
- ▶ 学位
修士(教育学)

ブリュースター デイモン BREWSTER, Damon 准教授

- ▶ 学歴
英国 University of Leicester
[修士課程]修了
- ▶ 学位
M.A. (Applied Linguistics and TESOL)

リー リサ LI, Lisa 准教授

- ▶ 学歴
米国 University of Wisconsin-Madison[博士課程]修了
- ▶ 学位
Ph.D. (Chinese Literature)

リ タイアイ 李 貞愛 准教授

- ▶ 学歴
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較社会文化学専攻博士後期課程[博士課程]修了
- ▶ 学位
博士(人文科学)

Careers

4年間の研鑽で得たスキルを駆使し グローバルな舞台での活躍をめざす。

世界の多様性を知り、異なる言語・文化を持つ人々と力を合わせる喜びや達成感を体験する4年間。各自の内面の成長は、スキルアップした外国語コミュニケーション力とともに、グローバルリーダーとしてのキャリアを切り拓いていく大きな原動力となります。そして卒業後、あなたの活躍の舞台となるのは「世界」。グローバル企業や国際機関、外資系企業などを中心に、あらゆる国・社会・文化・人々と触れ合い、協働しながら、世界をつなぐ橋渡し役として、多彩なスタイルの未来を描くことができるはずです。



どんな人材をめざすのか

グローバル企業や国際機関などで、中核となって活躍する人材をめざします。グローバル・コミュニケーション学群は、以下の全てを身につけた人材の育成を目標としています。

- 高い実用レベルの語学力と、グローバル社会で通用するコミュニケーション能力。
- 創造性豊かな思考力と、問題解決に向けた計画力や実行力。
- 国や文化を越えグローバルに活躍できるリーダーシップ。



到達目標

【英語特別専修】

TOEFL® (iBT) 67点以上及び
TOEIC® 710点以上並びに
IELTS™ 5.0程度

【中国語特別専修】

中国語検定2級又は新HSK
(漢語水平考) 5級

【日本語特別専修】

J-TEST 実用日本語検定準A級又は
BJTビジネス日本語能力テストJ1レベル

【グローバル教養専修】

2言語以上の一般レベルの外国語能力
の修得及び日本、英語圏地域、中国語圏
地域の地域文化理解

卒業後の進路

4年間の学習で身につけた力をもってグローバルな舞台をめざします。

- グローバル展開をする企業、外資系企業、総合商社、金融業、製造業、サービス業、教育機関、公務員など
- 国際機関(国連や経済協力開発機構、世界貿易機関など)
- より高い専門性を学ぶため、海外を含む大学院への進学



キャリアアドバイザー
栗原 悟
KURIHARA Satoru

世界を舞台に活躍する人材になるために 大学4年間でどのように過ごすのか？

海外や外資系企業で働くには、世界に多様な価値観があることを理解すること、そして自分の価値観にとらわれないことが大切です。私自身、民間企業で海外勤務をしていた頃は、仕事面でも生活面でも、日本との違いに戸惑い苦労しました。しかしそんな中で違いを意識し、夢中で仕事にあたるうちに、その違いを楽しむ心のゆとりや「異文化対応力」が養われてくるもの。海外で働くからこそそのやりがい、たくさんの異文化と触れ合う喜びを感じることができれば、それは豊かな人生を築く土台となるはずです。

今後グローバル化が進む中で、若い世代のみなさんは、好むと好まざるとにかかわらず、世界と強く関わっていく日々を送ることになるでしょう。そのためにも大学時代には、さまざまな国や世代、職業など自分のバックグラウンドとは異なる人と出会う経験を積んでください。桜美林大学には、世界を知るためのプログラムが充実しており、留学生も数多くいます。多くのことを学び、たくさんの人と友達となってください。自身の世界観や価値観は自ずと広がっていくはずです。



ゴッホの絵画で有名な「アルルの跳ね橋」。海外勤務時代の一コマ。

グローバル・キャリアフェスタ(仮)を開催!

グローバルな環境で活躍できる人材を育成するため、世界で活躍する先輩との交流、グローバル企業の講演、企業説明会などを計画しています。

グローバル・コミュニケーション学群

入試情報

専願 … 本学のみを志願し、合格後、必ず入学することが前提となります。

併願 … 他大学へ志願することも可能です。ただし、合格後手続き期間内に手続きがない場合は入学の意志がないものとみなされます。

※すべての選抜方式の出願資格ならびに選抜方法等の詳細は「学生募集要項」で必ずご確認ください。

01 AO入学者選抜 / AO入学者特別選抜

定員65人
奨学金選抜あり

これまでの学業や課外活動の成果と経験をいかし、入学後に活躍を期待できる人物を選抜します。

AO入学者選抜

専願 一般 第1回
<グローバル人材育成奨学生選抜>

専願 一般 第1回・第2回

併願 一般 第1回・第2回

併願 一般 (地区会場)

AO入学者特別選抜

併願 帰国生徒 第1回・第2回

併願 キリスト教学校教育同盟 第1回・第2回

選抜方式	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
AO入学者選抜 一般 第1回 AO入学者選抜 一般 第1回 <グローバル人材育成奨学生選抜> AO入学者特別選抜 第1回	8/24(月)~8/31(月)	10/18(日)	10/22(木)
AO入学者選抜 一般 (地区会場)	9/11(金)~9/18(金)	北海道、東海、九州 10/24(土)	10/30(金)
		沖縄 10/25(日)	
AO入学者選抜 一般 第2回 AO入学者特別選抜 第2回	11/2(月)~11/10(火)	12/12(土)	12/18(金)

02 大学特別選抜

定員15人

出願条件が異なる、桜美林大学ならではの3つの選抜方式によって選抜します。

専願 スポーツ選抜

希望者は高等学校の先生を通じて本学の該当クラブへご連絡ください。

専願 同窓生徒選抜

3親等以内に桜美林学園在学中又は卒園・卒業・修了者がいる者。

専願 キリスト者選抜

受洗者で、所属する教会の牧師又は司祭から推薦が得られる者。

選抜方式	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
大学特別選抜 第1回	8/24(月)~8/31(月)	10/18(日)	10/22(木)
大学特別選抜 第2回	11/2(月)~11/10(火)	12/12(土)	12/18(金)

**アドミッション
ポリシー**

グローバル・コミュニケーション学群は、大学の教育理念の一つである、教育を通して国際社会に貢献する人材の育成を目指すため、次の3点の能力と意欲を主体的努力によって伸ばし、グローバル社会の形成に貢献しようとする学生を受け入れる。

- 外国語、特に英語・中国語・日本語(外国人留学生)の高いコミュニケーションスキルを修得しようとする意欲とそのための基礎的な学力を持つ人
- 国際社会における異なる価値観や様々な地域や人々に対して共感力と理解力を持つ資質を有する人
- 国際社会の一員として国際協力や国際貢献、国際事業に意欲を持つ人

03 推薦入学者選抜 定員60人

高校時代の学業成果と、課外活動など高校生活全般にわたった評価によって選抜します。

専願 指定校制推薦入学者選抜
 <書類審査+志望理由書+面接(10分)>

**専願 公募制推薦入学者選抜
 一般(F推薦・S推薦)**

<書類審査+志望理由書+面接(10分)>

F推薦=普通科出身者対象 / S推薦=専門教育を主とする学科、総合学科、専修学校高等課程出身者対象

選抜方式	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
指定校制推薦入学者選抜 (地区会場)	9/11(金)~9/18(金)	北海道、東海、九州 10/24(土)	10/30(金)
		沖縄 10/25(日)	
指定校制推薦入学者選抜	11/2(月)~11/6(金)	11/21(土)	11/26(木)
公募制推薦入学者選抜	11/2(月)~11/6(金)	11/21(土) ※予備日 11/22(日)	11/26(木)

04 一般入学者選抜 定員50人 奨学金選抜あり

一般入学者選抜試験により学力をはかり、調査書とあわせながら能力・適性を判定し選抜します。

 **インターネット
出願!**
 ※詳しくは「学生募集要項」にてご確認ください

前期

A日程 3科目型 / 2科目型 / 英数型 / 英理型
 / 英数理型

B日程 3科目型 / 2科目型
 / 基礎学力検査型 ※2/9(火)に実施

中期

2科目型
3科目型(特定科目重視型)

後期

2科目型

選抜方式	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
一般入学者選抜 前期 A日程 <グローバル人材育成奨学生選抜含む> ^{※1} <学而事人奨学生選抜含む> ^{※2}	1/7(木)~1/21(木)	2/1(月)、2/2(火)	2/5(金)
一般入学者選抜 前期(地区会場)	1/7(木)~1/21(木)	東北、九州、沖縄 2/1(月)	2/5(金)
一般入学者選抜 前期 B日程 ^{※3}	1/7(木)~1/21(木)	2/8(月)、2/9(火)	2/12(金)
一般入学者選抜 中期	2/3(水)~2/15(月)	2/24(水)	2/29(月)
一般入学者選抜 後期	2/29(月)~3/4(金)	3/10(木)	3/12(土)

※1・2 いずれの奨学生選抜も前期A日程の3科目型を受験すること。 ※3 基礎学力検査型は2/9(火)に実施します。

05 大学入試センター試験利用入学者選抜 定員20人

大学入試センター試験により学力をはかり、調査書をあわせながら能力・適性を判定し選抜します。

 **インターネット
出願!**

※詳しくは『学生募集要項』
にてご確認ください

■3教科3科目

※「外国語」必須／「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」のいずれか2教科2科目を利用

※本学の個別試験は課さない

選抜方式	出願期間(消印有効)	合格発表日
大学入試センター試験利用入学者選抜 前期	1/7(木)～1/21(木)	2/12(金)
大学入試センター試験利用入学者選抜 中期	2/3(水)～2/15(月)	2/29(月)
大学入試センター試験利用入学者選抜 後期	2/29(月)～3/4(金)	3/12(土)

06 留学生入学者特別選抜

定員40人以内 奨学金選抜あり

外国籍の方を対象に、語学力を含む能力・適性をはかる選抜方式です。

国際色豊かなキャンパスで学び、世界で活躍したい留学生向けの選抜方式です。選抜方法は「書類審査」「面接(20分)」などとなっています。

- 選抜スケジュール他、詳細は『学生募集要項』にてご確認ください

07 社会人入学者特別選抜

定員若干名

社会人の方を対象に、専門や学芸を深められる能力・適性をはかる選抜方式です。

大学入学資格を有する社会人を対象とする選抜方式です。選抜方法は「書類審査」「面接(10分)」などとなっています。

- 選抜スケジュール他、詳細は『学生募集要項』にてご確認ください

学納金

		1年次	2年次	3年次	4年次
春 学 期	入学金	100,000	—	—	—
	施設設備費	125,000	125,000	125,000	125,000
	授業料	457,000	457,000	457,000	457,000
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
	同窓会費	—	—	—	10,000
	納入金合計	707,000	607,000	607,000	617,000
秋 学 期	施設設備費	125,000	125,000	125,000	125,000
	授業料	457,000	457,000	457,000	457,000
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
	納入金合計	607,000	607,000	607,000	607,000
年次別総計		1,314,000	1,214,000	1,214,000	1,224,000

※グローバル・コミュニケーション学群は別途留学費用がかかります。

オープンキャンパス

大学・入試・学群別ガイダンス、体験授業、キャンパスツアーなどを実施します。先生やスタッフとの個別相談、在学生との交流コーナーもあります。

※ 全日程10:00~16:00 / 予約不要・入退場自由

8/1^土 8/2^日
8/22^土 8/23^日

グローバル・コミュニケーション学群の特別ガイダンスを実施！
詳細は「受験生サイト」で随時更新中！



グローバル人材育成奨学金

(全学群対象30人)

入学後、大学が指定する1年半の英語プログラムを受講し、2年の秋学期から1年間の留学プログラムに参加。卒業時にTOEIC[®]800点レベルを目指す学生を応援する奨学金制度です。

授業料
最大4年間
30%減免

渡航支援費
最大75万円
給付

最大
208万円相当
減免・給付

1年春学期~2年春学期

2年秋学期~3年春学期

3年秋学期~4年秋学期

英語パスポート
コース

1年半の英語集中講座を受講。交換留学の参加条件となる英語スコアを目指します。

1年終了時
iBT61点
IELTS[™]5.5
到達!

1年間の
交換留学

2年生の秋学期から1年間交換留学に参加。英語で専門分野を学びます。

3年終了時
TOEIC[®]730点
iBT79点
到達!

就職・
海外進学へ

帰国後、就職と海外大学院進学を目指し、さらに英語をブラッシュアップ。

4年終了時
TOEIC[®]800点
iBT89点
到達!

イベント/入試に関する詳細は「受験生サイト」にてご確認ください。

<http://admissions.obirin.ac.jp/>



〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
TEL 042-797-1583(インフォメーションセンター)
<http://www.obirin.ac.jp/>